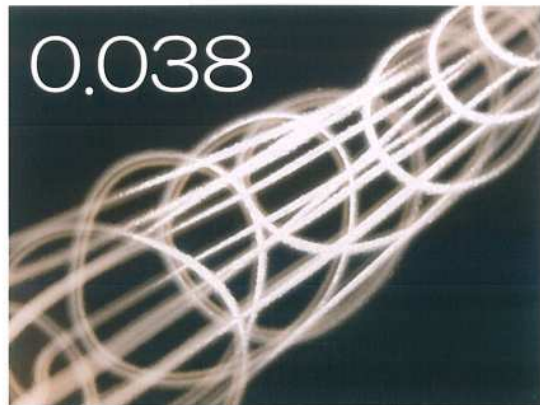


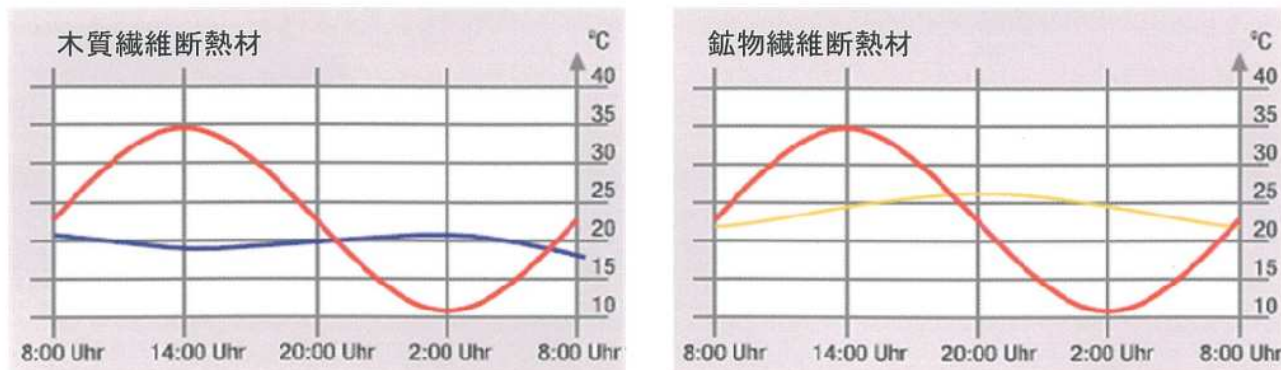
断熱・熱緩和



ウッドファイバーは高性能グラスウールと同等の断熱性能 (0.038W/m・K) を有しており、冬季に申し分のない断熱効果を発揮します。一方、蓄熱性に優れている (鉱物系断熱材の2~5倍) ため、夏季の遮熱にも威力を発揮し、涼しい室内環境を創出することに貢献します。



オランダ・ユトレヒト大学で、同一の建物・構造で、同じ厚みのウッドファイバーと鉱物系断熱材を屋根に施工し、夏場の室内の温度がどのように推移するか実証試験を行いました。その結果、鉱物系断熱材は約6時間で室内温度のピークをむかえ25°Cを超えましたが、ウッドファイバーは約10時間後によくピークをむかえ、また、室内の温度は25°Cを上回ることはありませんでした。



— 一日の外気温の変化
— 木質繊維断熱材を施工した室内の一日の温度変化

隙間の無い施工



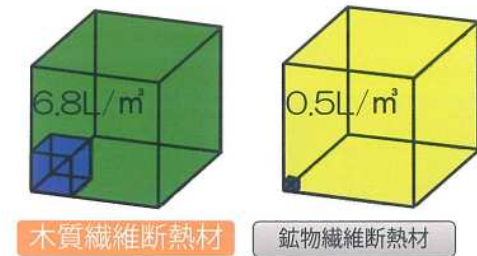
適度な密度と柔軟性があるため、構造体との間に隙間を生みません。また木材の経年による変形にも順応し、時間が経過しても音漏れやヒートブリッジに繋がる隙間ができません。

防音性



車の騒音 (空気伝搬音)、2階の足音 (床衝撃音) など効果的に遮り、居住空間に静寂をもたらすことに貢献します。

調湿性能



常時「呼吸 (吸放湿)」し、1m³のウッドファイバーで最大約7Lの水蒸気を蓄えることができ、その範囲内で断熱性能が落ちません。結露やカビ対策として有効です。

安心・安全・快適



素材として天然の「木」であり、ホルムアルデヒドやVOC・フリーでシックハウス・アレルギー対策に貢献します。

「F☆☆☆☆相当」 ※告示対象外製品です。F4品として安心してお使いいただけます。

難燃性



木は確かに燃えますが、表面が炭化し発火温度が上がるため、実は燃えにくいものです。ウッドファイバーは人体に無害な難燃処理方法を用いて、さらに消炎性を高めています。また、防蟻性を持たせた製品を試作中で、近日中の販売予定です。

※【防火構造30分認定を取得】
木造軸組工法 (充填100mm厚)
認定番号: PC030BE-1969~1974